

HandyCAD Mark II Fcomp Command

マニュアル



目 次

概要	1
1. 基本機能.....	2
コマンド機能	3
1. 図面比較.....	4
2. 部分比較.....	8
3. フォルダ比較.....	12
4. 比較図面結果.....	18
5. 図面 1	20
6. 図面 2	21
7. 結果図面.....	22
8. 基本要素表示.....	23
9. 変更要素表示.....	24
10. 追加要素表示.....	25
11. 削除要素表示.....	26
MEMO	27

概要

エフコンプの概要(基本的な機能)について説明します。

最初に使用する前にお読み下さい。

1. 基本機能

エフコンプは図面比較・検図ツールです。

システム上に複数の同名ファイルが存在する場合や、部署内外・取引先と図面ファイルを交換した際に変更の有無や変更の内容を簡単に確認することができます。

新旧 2 枚の図面フォーマットが異なっても図面比較を行うことができます。

図面比較を行った際には、二つの図面の相違点を色分けした結果図面(合成図面)が作成されます。

比較に使用した図面と結果図面は同期を取った状態で表示されるので、拡大・縮小を行っても常に同じ領域にて表示され、相違点の確認が容易に行えます。

また様々な表示系のコマンドも装備しており、図面 1・図面 2・結果図面コマンドによる表示図面・領域の切り替えや、基本要素表示・変更要素表示・追加要素表示・削除要素表示コマンドにて構成要素の表示・非表示を切り替えることで、目視による検図作業でも飛躍的に効率を上げることが可能です。

フォルダ比較はシステム上の多層化された二つのフォルダを比較します。

ファイルサイズ・更新日付にて、図面と図面と関連するドキュメント類を合わせて比較することができます。

また図面比較と連動し、図面比較コマンドと同様に結果図面や結果レポートを作成し、ファイル単位での異なる箇所を確認することが可能です。

フォルダ比較の比較結果画面では、比較結果ごとに表示・非表示を切り替えることができ、変更のあるファイルを詳細に確認することが可能です。

比較結果画面にて、ファイルのコピー・削除・アプリケーションの起動等ができるので、比較結果画面の中だけで二つのフォルダの完全な同期を取ることが可能です。

コマンド機能

コマンドの便利な操作方法について説明します。

1. 図面比較

図面ファイル、もしくは編集中の新旧 2 枚の図面を比較します。

比較結果は結果図面(合成図面)、結果レポートファイルにて確認することができます。

比較結果後に開かれる図面 1・図面 2・結果図面は同期が取られた状態で表示されます。

☆ 新旧 2 枚の図面フォーマットが異なっても図面比較を行うことができます。

☆ 結果図面は保存用フォルダを指定しておくことで、自動保存も可能です。

☆ 制限事項：

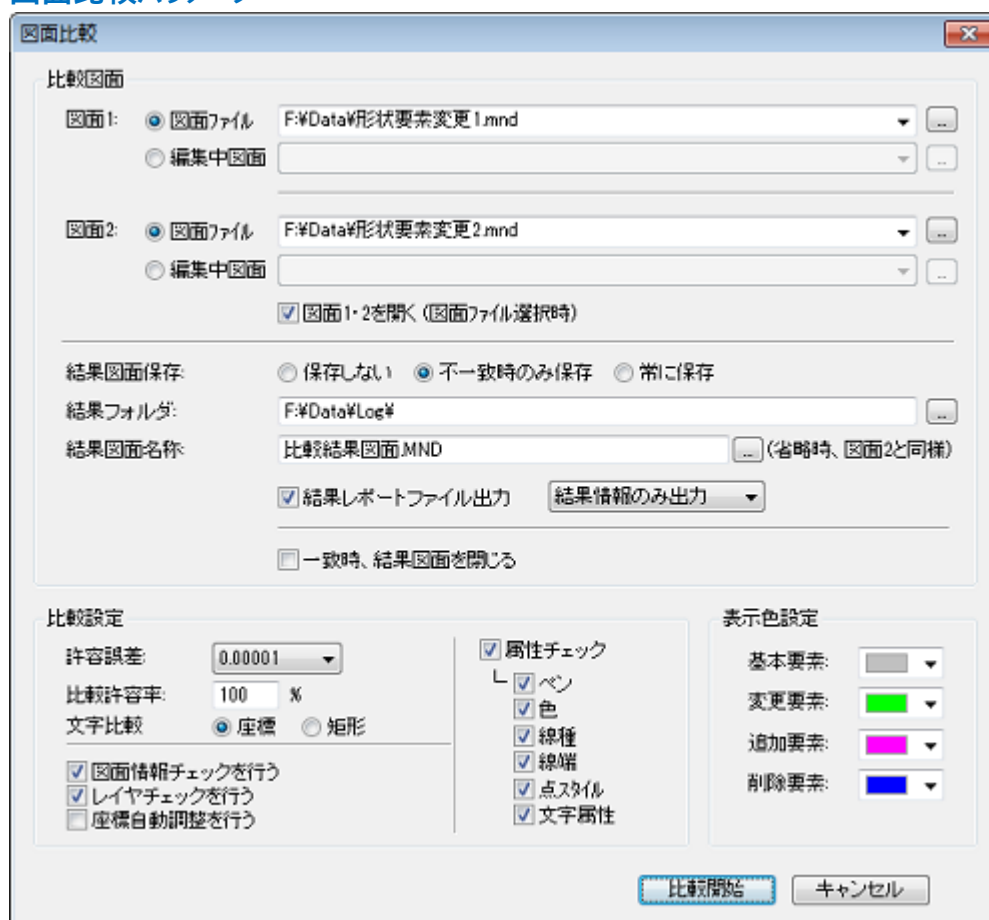
ベースアプリケーション以外のアプリケーションが作成した要素（マークアップ／ピクチャーデータ等）は比較対象外となります。

オペレーション

比較する図面の指定と、図面比較のパラメータの指定を行います。図面 1 と図面 2 の図面ファイル・結果フォルダはエクスプローラ等からのドラッグ&ドロップによる指定も可能です。

1. 「比較開始」ボタンをクリックすると、図面比較が開始されます。
2. 図面比較が終了すると結果レポートが表示されます。結果レポートファイルを出力している場合は、テキストエディタが起動され、より詳細な情報を確認することができます。

図面比較パラメータ



図面比較

比較図面

図面1: ☒ 図面ファイル F:\Data\形状要素変更1.mnd
☐ 編集中国面

図面2: ☒ 図面ファイル F:\Data\形状要素変更2.mnd
☐ 編集中国面

☒ 図面1・2を開く (図面ファイル選択時)

結果図面保存: ☐ 保存しない ☒ 不一致時のみ保存 ☐ 常に保存

結果フォルダ: F:\Data\Log\

結果図面名称: 比較結果図面.MND (省略時、図面2と同様)

☒ 結果レポートファイル出力

☐ 一致時、結果図面を開じる

比較設定

許容誤差: 0.00001

比較許容率: 100 %

文字比較: ☒ 座標 ☐ 矩形

☒ 図面情報チェックを行う
☒ レイヤチェックを行う
☐ 座標自動調整を行う

☒ 属性チェック

属性チェック

- ☒ ペン
- ☒ 色
- ☒ 線種
- ☒ 線端
- ☒ 点スタイル
- ☒ 文字属性

表示色設定

基本要素:

変更要素:

追加要素:

削除要素:

1. 図面比較

比較図面		
図面ファイル編集 中 図面	比較する図面 1 と図面 2 の指定方法・図面名称を指定します。	
	図面ファイルが チェック ON	既存の図面を指定します。 右側の『...』にて、ファイル選択ダイアログを使用した、詳細を確認しながらの図面選択も可能です。指定されたファイルは履歴として保存され、次回動作時にリストより選択することが可能です。
	編集中心図面チェック ON	現在編集中心の図面をリストより選択します。 右側の『...』にて、図面選択ダイアログを使用した詳細を確認しながらの図面選択も可能です。
図面 1・2 を開く(図面 ファイル選択時)	チェック OFF	指定の図面ファイルを開かず、結果図面のみが開かれます。
	チェック ON	図面ファイル選択時に指定された図面ファイルを開きます。
結果図面保存	保存しない	結果図面を保存しません。
	不一致時のみ保存	比較結果が一致しない場合のみ保存します。
	常に保存	比較結果に関係なく、常に保存します。
結果フォルダ	結果図面と結果テキストファイルを作成するフォルダを指定します。 右側の『...』ボタンにてフォルダ選択ダイアログを使用したフォルダ選択も可能です。	
結果図面名称	比較結果の図面の名称を指定します。出力先は結果フォルダになります。 省略時は図面 2 と同様の図面名となります。	
結果レポートファイル出 力	チェック OFF	結果レポートファイルの出力を行いません。
	チェック ON	結果レポートファイルの出力を行います。
	結果情報のみ出力	比較の結果のみをレポートファイルに出力します。
	不一致情報出力	比較の結果と、不一致要素の比較情報をレポートファイルに出力します。
	全て出力	比較の結果と、全ての要素の比較情報をレポートファイルに出力します。
図面 1・2 を開く(図面 ファイル選択時)	チェック OFF	結果図面に対して何も行いません。
	チェック ON	結果一致時、開かれた結果図面を閉じます。

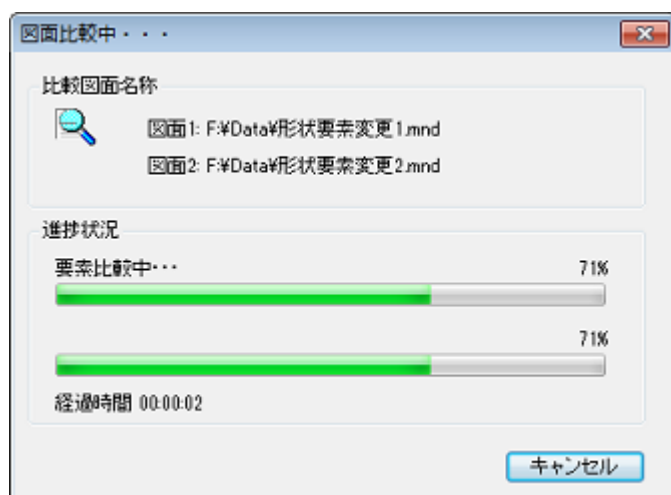
1. 図面比較

比較設定		
許容誤差	要素の比較判定を行う際の許容誤差を指定します。コンバータを使用した他形式データ等で精度が良くない図面の場合は、大きい数値を指定します。	
比較許容率	比較図面の一致率が指定値より小さい場合に、指定値を超えた時点で比較を続行するか、キャンセルするかのワーニングボックスが表示されます。図面が大きく異なる場合や比較する必要がない場合に使用します。 ☆0%だと常にワーニングが表示され、100%だとワーニングは表示されません。	
文字比較	座標	文字の基準点にて文字要素の比較を行います。
	矩形	文字の矩形サイズにて文字要素の比較を行います。
	☆通常は座標モードを使用します。 コンバータを使用した他形式データ等の、基準点・基準位置が変更されていても見た目が同様の場合や一致データとするような場合は、矩形モードを選択します。	
図面情報チェック	チェック ON	要素データ以外の図面が保有する図面情報・設定のチェックを行います。
	チェック OFF	要素データのみをチェックします
レイヤチェックを行う	チェック ON	異レイヤを使用している一致要素は不一致要素として処理されます。
	チェック OFF	異レイヤを使用している一致要素は一致要素として処理されます。
座標自動調整を行う	チェック ON	図面 2 が全体的に移動されている場合に、図面 2 全体を図面 1 に合わせて自動で調整します。
	チェック OFF	元の図面の座標系で図面比較を行います。
属性チェック	チェック OFF	ペン・色・線種・線端・点スタイル・文字属性のチェックを行いません。
	チェック ON	ペン・色・線種・線端・点スタイル・文字属性がそれぞれ指定されている場合、該当チェックを行います。
	<input type="checkbox"/> ペン	指定時、要素のペン情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 色	指定時、要素の色情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 線種	指定時、要素の線種情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 線端	指定時、線分・円弧・楕円弧要素のペン情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 点スタイル	指定時、点要素の点スタイルを比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 文字属性	指定時、文字要素の文字スタイル情報・文字属性情報を比較項目とします。

1. 図面比較

表示色設定	
基本要素	結果図面に描画される基本要素の色を指定します。変更されていない要素と、変更時の変更前の要素の描画に使用されます。
変更要素	結果図面に描画される変更要素の色を指定します。変更時の変更後の要素の描画に使用されます。
追加要素	結果図面に描画される追加要素の色を指定します。図面 2 に追加された要素の描画に使用されます。
削除要素	結果図面に描画される削除要素の色を指定します。図面 1 から削除された要素の描画に使用されます。

図面比較中画面



比較図面名称	
図面 1	比較中の図面 1 の名称が表示されます。
図面 2	比較中の図面 2 の名称が表示されます。
進捗状況	
上段	比較中の処理を表すメッセージと、現在の図面比較の進捗状況を表すプログレスバーが表示されます。
下段	図面比較時は上段と下段のプログレスバーは同様に表示されます。現在の図面比較の経過時間が表示されます。

2. 部分比較

2箇所領域指定された複数要素を比較します。

比較結果は結果図面(合成図面)、結果レポートファイルにて確認することができます。

☆ 結果図面は保存用フォルダを指定しておくことで、自動保存も可能です。

☆ 制限事項：

ベースアプリケーション以外のアプリケーションが作成した要素（マークアップ／ピクチャーデータ等）は比較対象外となります。

オペレーション

部分比較のパラメータの指定を行います。結果フォルダはエクスプローラ等からのドラッグ&ドロップによる指定も可能です。

1. 「比較開始」ボタンをクリックすると、部分比較が開始されます。
2. 部分比較が終了すると結果レポートが表示されます。結果レポートファイルを出力している場合は、テキストエディタが起動され、より詳細な情報を確認することができます。

部分比較パラメータ

部分比較

比較結果

結果図面保存: ☐ 保存しない ☒ 不一致時のみ保存 ☐ 常に保存

結果フォルダ: F:\Data\Log\

結果図面名称: 部分比較結果図面 (省略時、図面2と同様)

☒ 結果レポートファイル出力 結果情報のみ出力

☐ 一致時、結果図面を閉じる

比較設定

許容誤差: 0.00001

比較許容率: 100 %

文字比較: ☒ 座標 ☐ 矩形

☒ 図面情報チェックを行う

☒ レイヤチェックを行う

☒ 属性チェック

色

線種

線端

点スタイル

文字属性

表示色設定

基本要素: 基本要素

変更要素: 変更要素

追加要素: 追加要素

削除要素: 削除要素

比較開始 キャンセル

2. 部分比較

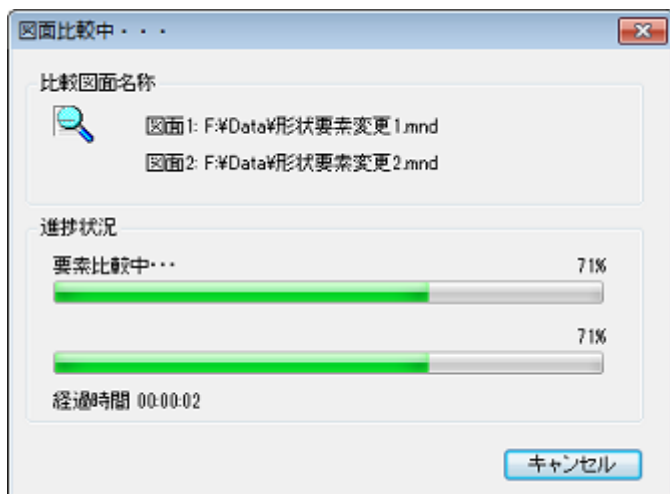
比較図面		
結果図面保存	保存しない	結果図面を保存しません。
	不一致時のみ保存	比較結果が一致しない場合のみ保存します。
	常に保存	比較結果に関係なく、常に保存します。
結果フォルダ	結果図面と結果テキストファイルを作成するフォルダを指定します。 右側の『...』ボタンにて、フォルダ選択ダイアログを使用したフォルダ選択も可能です。	
結果図面名称	比較結果の図面の名称を指定します。出力先は結果フォルダになります。省略時は図面 2 と同様の図面名となります。	
結果レポートファイル出力	チェック OFF	結果レポートファイルの出力を行いません。
	チェック ON	結果レポートファイルの出力を行います。
	結果情報のみ出力	比較の結果のみをレポートファイルに出力します。
	不一致情報出力	比較の結果と、不一致要素の比較情報をレポートファイルに出力します。
	全て出力	比較の結果と、全ての要素の比較情報をレポートファイルに出力します。
一致時、結果図面を閉じる	チェック OFF	結果図面に対して何も行いません。
	チェック ON	結果一致時、開かれた結果図面を閉じます。

2. 部分比較

比較設定		
許容誤差	要素の比較判定を行う際の許容誤差を指定します。コンバータを使用した他形式データ等で精度が良くない図面の場合は、大きい数値を指定します。	
比較許容率	<p>比較図面の一致率が指定値より小さい場合に、指定値を超えた時点で比較を続行するか、キャンセルするかのワーニングボックスが表示されます。図面が大きく異なる場合には比較する必要がない場合に使用します。</p> <p>☆0%だと常にワーニングが表示され、100%だとワーニングは表示されません。</p>	
比較許容率	座標	文字の基準点にて文字要素の比較を行います。
	矩形	文字の矩形サイズにて文字要素の比較を行います。
	<p>☆通常は座標モードを使用します。</p> <p>コンバータを使用した他形式データ等の、基準点・基準位置が変更されていても見た目が同様の場合は一致データとするような場合は、矩形モードを選択します。</p>	
図面情報チェック	チェック ON	要素データ以外の図面が保有する図面情報・設定のチェックを行います。
	チェック OFF	要素データのみをチェックします。
レイヤチェックを行う	チェック ON	異レイヤを使用している一致要素は不一致要素として処理されます。
	チェック OFF	異レイヤを使用している一致要素は一致要素として処理されます。
属性チェック	チェック OFF	ペン・色・線種・線端・点スタイル・文字属性のチェックを行いません。
	チェック ON	ペン・色・線種・線端・点スタイル・文字属性がそれぞれ指定されている場合、該当チェックを行います。
	<input type="checkbox"/> ペン	指定時、要素のペン情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 色	指定時、要素の色情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 線種	指定時、要素の線種情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 線端	指定時、線分・円弧・楕円弧要素のペン情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 点スタイル	指定時、点要素の点スタイルを比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 文字属性	指定時、文字要素の文字スタイル情報・文字属性情報を比較項目とします。
表示色設定		
基本要素	結果図面に描画される基本要素の色を指定します。変更されていない要素と、変更時の変更前の要素の描画に使用されます。	
変更要素	結果図面に描画される変更要素の色を指定します。変更時の変更後の要素の描画に使用されます。	
追加要素	結果図面に描画される追加要素の色を指定します。図面 2 に追加された要素の描画に使用されます。	
削除要素	結果図面に描画される削除要素の色を指定します。図面 1 から削除された要素の描画に使用されます。	

2. 部分比較

部分比較パラメータ



比較図面名称	
図面 1	比較中の図面 1 の名称が表示されます。
図面 2	比較中の図面 2 の名称が表示されます。
進捗状況	
上段	比較中の処理を表すメッセージと、現在の図面比較の進捗状況を表すプログレスバーが表示されます。
下段	図面比較時は上段と下段のプログレスバーは同様に表示されます。現在の図面比較の経過時間が表示されます。

3. フォルダ比較

指定フォルダ内の図面ファイルを、指定された比較方法にて比較し、情報を表示します。

オペレーション

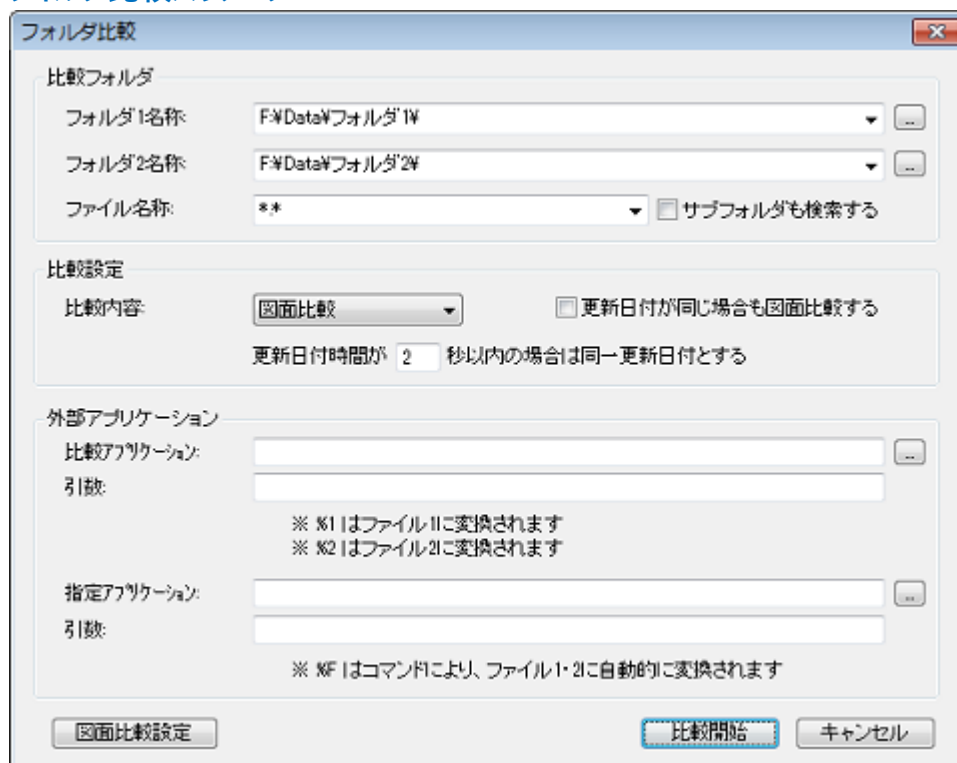
比較するフォルダの指定と、図面比較のパラメータの設定を行います。

フォルダ 1 名称とフォルダ 2 名称・比較アプリケーション・指定アプリケーションはエクスプローラ等からのドラッグ&ドロップによる指定も可能です。

1. 「比較開始」ボタンをクリックすると、フォルダ比較が開始されます。
2. フォルダ比較が終了すると比較結果ダイアログが表示されます。ダイアログのリストにて、右クリックでコンテキストを表示し、ファイルの削除・コピー、図面を開く・閉じるの動作を行うことが可能です。
フォルダ 1 とフォルダ 2 でそれぞれ操作ができ、ファイルの更新日・サイズを確認しながら比較結果を元にフォルダ 1 とフォルダ 2 の同期を取ることが可能です。

☆ ファイルの削除・コピーは誤った操作をされますと、意図しない削除や上書きコピーをする恐れがあります。十分に注意して操作を行って下さい。

フォルダ比較パラメータ



フォルダ比較

比較フォルダ

フォルダ1名称: F:\Data\Folder 1\F

フォルダ2名称: F:\Data\Folder 2\F

ファイル名称: **

☐ サブフォルダも検索する

比較設定

比較内容: 図面比較

☐ 更新日付が同じ場合も図面比較する

更新日付時間が 2 秒以内の場合は同一更新日付とする

外部アプリケーション

比較アプリケーション:

引数:

※ %1 はファイル1に変換されます

※ %2 はファイル2に変換されます

指定アプリケーション:

引数:

※ %F はコマンドにより、ファイル1・2に自動的に変換されます

図面比較設定 比較開始 キャンセル

3. フォルダ比較

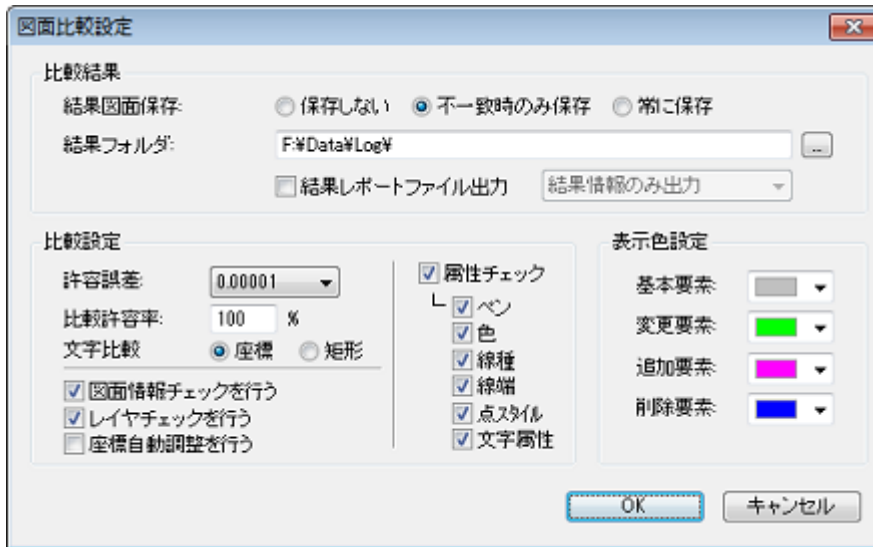
比較フォルダ		
フォルダ 1 名称	比較するフォルダ 1 名称を指定します。 右側の『...』にて、フォルダ選択ダイアログを使用したフォルダ選択も可能です。 指定されたフォルダは履歴として保存され、次回動作時にリストより選択することが可能です。	
フォルダ 2 名称	比較するフォルダ 2 名称を指定します。 右側の『...』にて、フォルダ選択ダイアログを使用したフォルダ選択も可能です。 指定されたフォルダは履歴として保存され、次回動作時にリストより選択することが可能です。	
ファイル名称	比較するファイル名称を指定します。通常、『*.＊』等のワイルドカードを指定します。 指定されたファイル名称は履歴として保存され、次回動作時にリストより選択することが可能です。	
サブフォルダも検索する	チェック OFF	指定されたフォルダのみを比較します。
	チェック ON	指定されたフォルダの下のサブフォルダも比較します。
比較設定		
比較情報	指定フォルダ内の図面ファイルを比較する際の比較方法を指定します。 更新日付指定時、対象ファイルの更新時間が指定秒数以下の場合は同一更新ファイルとして処理されます。(数を奇数のみ又は偶数のみしか保存しないサーバーとの比較を行う場合に使用します。)	
	存在チェックのみ	存在チェックのみ行います。その他の比較は行いません。
	更新日付	更新日付にて比較を行います。どちらのファイルが新しいかを確認することができます。
	ファイルサイズ	ファイルサイズにて比較を行います。どちらのファイルサイズが大きいかを確認することができます。
	図面比較	図面比較を行います。図面が変更の有無の確認と、変更・追加・削除された要素の確認が可能です。
更新日付が同じ場合も図面比較する	チェック OFF	更新日付が同じ図面ファイルは比較しません。
	チェック ON	更新日付が同じ図面ファイルも図面比較します。

3. フォルダ比較

外部アプリケーション	
比較アプリケーション	<p>比較結果画面の[比較アプリケーション起動]にて使用されるアプリケーションを指定します。</p> <p>引数に、「%1」を指定した場合はファイル 1 に、「%2」を指定した場合はファイル 2 に自動的に変換されます。</p> <p>☆ 比較アプリケーション起動は、フォルダ 1 のファイルとフォルダ 2 のファイルを引数として指定し、ファイル比較アプリケーションを起動する際に使用します。</p>
指定アプリケーション	<p>比較結果画面の[指定アプリケーション起動]にて使用されるアプリケーションを指定します。</p> <p>引数に、「%F」を指定した場合はファイル 1・2 に自動的に変換されます。</p> <p>☆ 指定アプリケーション起動は、フォルダ 1 のファイルかフォルダ 2 のファイルのどちらを引数として指定し、指定されたアプリケーションを起動します。比較したファイルをテキストエディタで確認したい時などに使用します。</p>

3. フォルダ比較

部分比較パラメータ



The dialog box '図面比較設定' (Drawing Comparison Settings) is divided into three main sections: '比較結果' (Comparison Results), '比較設定' (Comparison Settings), and '表示色設定' (Display Color Settings).
1. '比較結果' (Comparison Results):

- '結果図面保存' (Save Result Drawing): Radio buttons for '保存しない' (Don't save), '不一致時のみ保存' (Save only on mismatch) [selected], and '常に保存' (Always save).
- '結果フォルダ' (Result Folder): Text field with 'F:\Data\Log\%' and a browse button '...'.
- '結果レポートファイル出力' (Output Result Report File): A checkbox.
- '結果情報のみ出力' (Output only result information): A dropdown menu.

2. '比較設定' (Comparison Settings):

- '許容誤差' (Tolerance): A numeric field set to '0.00001'.
- '比較許容率' (Comparison tolerance): A numeric field set to '100' followed by a '%' sign.
- '文字比較' (Text comparison): Radio buttons for '座標' (Coordinates) [selected] and '矩形' (Rectangle).
- Checkboxes: '図面情報チェックを行う' (Perform drawing information check) [checked], 'レイヤチェックを行う' (Perform layer check) [checked], and '座標自動調整を行う' (Perform automatic coordinate adjustment) [unchecked].
- '属性チェック' (Property check): A checkbox [checked] with a sub-list:
 - 'ペン' (Pen) [checked]
 - '色' (Color) [checked]
 - '線種' (Line type) [checked]
 - '線端' (Line end) [checked]
 - '点スタイル' (Point style) [checked]
 - '文字属性' (Text property) [checked]

3. '表示色設定' (Display Color Settings):

- '基本要素' (Basic element): A dropdown menu.
- '変更要素' (Changed element): A dropdown menu with a green color swatch.
- '追加要素' (Added element): A dropdown menu with a magenta color swatch.
- '削除要素' (Deleted element): A dropdown menu with a blue color swatch.

At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

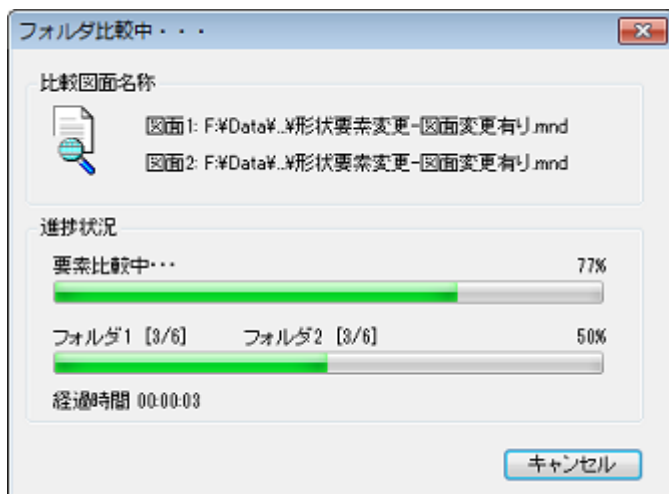
比較図面		
結果図面保存	保存しない	結果図面を保存しません。
	不一致時のみ保存	比較結果が一致しない場合のみ保存します。
	常に保存	比較結果に関係なく、常に保存します。
結果フォルダ	結果図面と結果テキストファイルを作成するフォルダを指定します。 右側の『...』ボタンにてフォルダ選択ダイアログを使用したフォルダ選択も可能です。	
結果図面名称	比較結果の図面の名称を指定します。出力先は結果フォルダになります。 省略時は図面 2 と同様の図面名となります。	
結果レポートファイル出力	チェック OFF	結果レポートファイルの出力を行いません。
	チェック ON	結果レポートファイルの出力を行います。
	結果情報のみ出力	比較の結果のみをレポートファイルに出力します。
	不一致情報出力	比較の結果と、不一致要素の比較情報をレポートファイルに出力します。
	全て出力	比較の結果と、全ての要素の比較情報をレポートファイルに出力します。

3. フォルダ比較

比較設定		
許容誤差	要素の比較判定を行う際の許容誤差を指定します。コンバータを使用した他形式データ等で精度が良くない図面の場合は、大きい数値を指定します。	
比較許容率	比較図面の一致率が指定値より小さい場合に、指定値を超えた時点で比較を続行するか、キャンセルするかのワーニングボックスが表示されます。図面が大きく異なる場合には比較する必要がない場合に使用します。 ☆0%だと常にワーニングが表示され、100%だとワーニングは表示されません。	
比較許容率	座標	文字の基準点にて文字要素の比較を行います。
	矩形	文字の矩形サイズにて文字要素の比較を行います。
	☆通常は座標モードを使用します。 コンバータを使用した他形式データ等の、基準点・基準位置が変更されていても見た目が同様の場合は一致データとするような場合は、矩形モードを選択します。	
図面情報チェック	チェック ON	要素データ以外の図面が保有する図面情報・設定のチェックを行います。
	チェック OFF	要素データのみをチェックします。
レイヤチェックを行う	チェック ON	異レイヤを使用している一致要素は不一致要素として処理されます。
	チェック OFF	異レイヤを使用している一致要素は一致要素として処理されます。
属性チェック	チェック OFF	ペン・色・線種・線端・点スタイル・文字属性のチェックを行いません。
	チェック ON	ペン・色・線種・線端・点スタイル・文字属性がそれぞれ指定されている場合、該当チェックを行います。
	<input type="checkbox"/> ペン	指定時、要素のペン情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 色	指定時、要素の色情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 線種	指定時、要素の線種情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 線端	指定時、線分・円弧・楕円弧要素のペン情報を比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 点スタイル	指定時、点要素の点スタイルを比較項目とします。
	<input type="checkbox"/> 文字属性	指定時、文字要素の文字スタイル情報・文字属性情報を比較項目とします。
表示色設定		
基本要素	結果図面に描画される基本要素の色を指定します。変更されていない要素と、変更時の変更前の要素の描画に使用されます。	
変更要素	結果図面に描画される変更要素の色を指定します。変更時の変更後の要素の描画に使用されます。	
追加要素	結果図面に描画される追加要素の色を指定します。図面 2 に追加された要素の描画に使用されます。	
削除要素	結果図面に描画される削除要素の色を指定します。図面 1 から削除された要素の描画に使用されます。	

3. フォルダ比較

フォルダ比較中画面



比較図面名称	
図面 1	現在比較中の図面 1 の名称が表示されます。 ☆ 図面比較時のみ図面名称が表示されます。
図面 2	現在比較中の図面 2 の名称が表示されます。 ☆ 図面比較時のみ図面名称が表示されます。
進捗状況	
上段	比較中の処理を表すメッセージと、現在の図面比較の進捗状況を表すプログレスバーが表示されます。
下段	フォルダ内の何番目のファイルを比較しているかの表示と、フォルダ比較全体の進捗状況を表すプログレスバーが表示されます。フォルダ比較開始からの経過時間と、予測される比較終了までの残り時間が表示されます。

4. 図面比較結果

現在開かれている結果図面に対して、図面比較の結果の一覧を表示、ハイライト表示にて要素を確認することが出来ます。
また作図領域の要素をピックする事により、一覧表示の要素をハイライト表示し、確認することも可能です。

☆ 図面比較・部分比較・フォルダ比較コマンドにて作成された結果図面のみ、当コマンドを使用できます。

☆ コマンドを使用できない場合は、メニューがグレー表示され選択できない状態になります。

☆ 図面切り換え時、該当の図面の図面比較結果に切り換わります。

該当図面が結果図面でない場合は一覧には何も表示されません。

オペレーション

1. コマンドを選択すると、結果要素リストが表示されます。
2. 作図領域の要素を選択すると、結果リストの該当行がハイライト表示されます。
3. 結果リストを選択すると、該当の要素がハイライト表示されます。結果リストをダブルクリックした場合は、該当の要素が拡大表示されます。次に結果リストをクリック時には拡大表示以前の表示領域に戻ります。

要素	X	Y	X(R1)	Y(R2)	状態
オラウ心	320.0	40.0	320.0	40.0	基本要素
オラウ心	320.0	110.0	320.0	110.0	基本要素
オラウ心	320.0	40.0	320.0	40.0	基本要素
オラウ心	320.0	110.0	320.0	110.0	基本要素
線	60.0	260.0	60.0	260.0	変更要素
線	75.0	220.0	60.0	210.0	変更要素
線	150.0	280.0	150.0	290.0	変更要素
線	175.0	220.0	200.0	220.0	変更要素
線	150.0	190.0	200.0	220.0	変更要素
線	150.0	260.0	150.0	290.0	変更要素
線	220.0	280.0	250.0	290.0	変更要素
線	240.0	220.0	250.0	200.0	変更要素
線	250.0	280.0	250.0	290.0	変更要素
線	450.0	280.0	520.0	268.75644	変更要素
線	550.0	75.0	500.0	75.0	変更要素
線	550.0	215.0	500.0	215.0	変更要素
線	750.0	128.0	750.0	147.0	変更要素
線	800.0	128.0	800.0	147.0	変更要素
オラウ心	20.0	40.0	60.0	40.0	変更要素
オラウ心	20.0	110.0	60.0	110.0	変更要素
オラウ心	120.0	40.0	150.0	40.0	変更要素
オラウ心	120.0	110.0	150.0	110.0	変更要素
オラウ心	320.0	40.0	320.0	40.0	変更要素
オラウ心	320.0	110.0	320.0	110.0	変更要素
オラウ心	320.0	260.0	320.0	260.0	変更要素
オラウ心	340.0	200.0	375.87916	200.28885	変更要素
線	320.0	190.0	320.0	220.0	変更要素
線	320.0	190.0	320.0	190.0	変更要素
線	320.0	220.0	340.0	220.0	変更要素
線	320.0	280.0	320.0	280.0	変更要素
線	320.0	280.0	350.0	280.0	変更要素
線	320.0	250.0	320.0	250.0	変更要素
線	340.0	200.0	340.0	220.0	変更要素
線	350.0	260.0	350.0	280.0	変更要素
線	350.0	260.0	350.0	260.0	変更要素
線	375.0	220.0	375.87916	200.28885	変更要素

4. 図面比較結果

結果要素リスト

比較結果に対応した色にて表示されます。

変更要素	緑色表示
追加要素	赤色表示
削除要素	青色表示

リストのヘッダー部(要素、X、Y、X2(R1)、Y2(R2)、状態)をクリックすることで、それぞれの項目で並び替えを行えます。

ツールバー		
各比較結果の色のアイコン(白・青・赤・緑)	それぞれの比較結果（基本要素・変更要素・追加要素・削除要素）の表示・非表示を切り替えることが可能です。（リスト部の表示と併せて描画領域の要素も表示/非表示されます。）	
	☆ キーボードの Ctrl + 『↑』・ Ctrl + 『↓』により、次の変更箇所・前の変更箇所に移動が可能です。	
	☆ キーボードのスペースキー・Shift + スペースキーにより、次の変更箇所・前の変更箇所に選択された状態での移動が可能です。	
次の変更箇所に移動 / 前の変更箇所に移動	次または前の変更箇所まで移動の動作を行うことができます。	
	☆ 項目に対して処理が出来ない場合はグレーで表示され、選択出来ないようになっています。 ツールバー上の『右揃え』ボタンをクリックすることにより、X、Y、X2(R1)、Y2(R2)の表示座標の表示を通常/右揃えで切り換えます。	
要素位置に移動	モードが On の時は結果リストを選択時に選択要素が表示枠外にある場合に要素が表示領域の中心に来るように表示領域を調整します。	
要素結果リスト		
要素	比較した要素タイプを、点/線/円/円弧/楕円弧/楕円/ポリライン/文字列で表示します。	
X・Y・X2(R1)・Y2(R2)	X	Y
	線/ポリライン → 始点 X 座標	線/ポリライン → 始点 Y 座標
	円/円弧・楕円/楕円弧 → 中心点 X 座標	円/円弧・楕円/楕円弧 → 中心点 Y 座標
	点・文字列 → 基準点 X 座標	点・文字列 → 基準点 Y 座標
	X2(R1)	Y2(R2)
	線/ポリライン → 終点 X 座標	線/ポリライン → 終点 Y 座標
	円/円弧 → 半径	円/円弧 → 表示無し
	楕円/楕円弧 → 長径	楕円/楕円弧 → 短径
	点・文字列 → 表示無し	点・文字列 → 表示無し
	その他	
連番表示	選択要素を基本要素/変更要素/追加要素/削除要素で表示、それぞれの連番を表示します。	

5. 図面 1

図面比較にて比較された図面 2 もしくは結果図面に対して、対応する図面 1 を同じ表示エリアにて表示します。
同じ表示エリアにて表示されるので、変更箇所の確認が簡単に行えます。

☆ 比較結果図面、もしくは図面比較コマンドにて開かれた図面、もしくは図面 2・結果図面コマンドにて開かれた図面のみ
当コマンドを使用できます。

☆コマンドを使用できない場合は、メニューがグレー表示され選択できない状態になります。

☆図面が開かれていない場合は自動的に読み込まれます。（対応する図面が登録されている場合）

☆当コマンドは割り込みコマンドとして動作します。

オペレーション中のコマンドを抜けることなく表示切り替えを行うことができます。

オペレーション

1. コマンドを選択すると、自動的に対応する図面に切り替わり、元図面と同じ表示エリアにて表示されます。

☆ 図面が開かれていない場合は自動的に読み込まれます。（対応する図面が登録されている場合）

6. 図面 2

図面比較にて比較された図面 1 もしくは結果図面に対して、対応する図面 2 を同じ表示エリアにて表示します。
同じ表示エリアにて表示されるので、変更箇所の確認が簡単に行えます。

☆ 比較結果図面、もしくは図面比較コマンドにて開かれた図面、もしくは図面 1・結果図面コマンドにて開かれた図面のみ
当コマンドを使用できます。

☆コマンドを使用できない場合は、メニューがグレー表示され選択できない状態になります。

☆図面が開かれていない場合は自動的に読み込まれます。（対応する図面が登録されている場合）

☆当コマンドは割り込みコマンドとして動作します。

オペレーション中のコマンドを抜けることなく表示切り替えを行うことができます。

オペレーション

1. コマンドを選択すると、自動的に対応する図面に切り替わり、元図面と同じ表示エリアにて表示されます。

☆ 図面が開かれていない場合は自動的に読み込まれます。（対応する図面が登録されている場合）

7. 結果図面

図面比較にて比較された図面 1 もしくは図面 2 に対して、対応する結果図面を同じ表示エリアにて表示します。
同じ表示エリアにて表示されるので、変更箇所の確認が簡単に行えます。

☆ 図面比較コマンドにて開かれた図面、もしくは図面 1・2 コマンドにて開かれた図面のみ当コマンドを使用できます。

☆ コマンドを使用できない場合は、メニューがグレー表示され選択できない状態になります。

☆ 図面が開かれていない場合は自動的に読み込まれます。（対応する図面が登録されている場合）

☆ 当コマンドは割り込みコマンドとして動作します。

オペレーション中のコマンドを抜けることなく表示切り替えを行うことができます。

オペレーション

1. コマンドを選択すると、自動的に対応する図面に切り替わり、元図面と同じ表示エリアにて表示されます。

☆ 図面が開かれていない場合は自動的に読み込まれます。（対応する図面が登録されている場合）

8. 基本要素表示

図面比較にて比較された結果図面の基本要素の表示・非表示の切り替えを行います。

☆ 図面比較・部分比較・フォルダ比較コマンドにて作成された結果図面のみ、当コマンドを使用できます。

☆ コマンドを使用できない場合は、メニューがグレー表示され選択できない状態になります。

☆ 当コマンドは割り込みコマンドとして動作します。

オペレーション中のコマンドを抜けることなく表示・非表示の切り替えを行うことができます。

オペレーション

1. コマンド選択の都度、基本要素が表示状態の場合は非表示状態に、非表示状態の場合は表示状態に自動的に切り替えます。

9. 変更要素表示

図面比較にて比較された結果図面の変更要素の表示・非表示の切り替えを行います。

☆ 図面比較・部分比較・フォルダ比較コマンドにて作成された結果図面のみ、当コマンドを使用できます。

☆ コマンドを使用できない場合は、メニューがグレー表示され選択できない状態になります。

☆ 当コマンドは割り込みコマンドとして動作します。

オペレーション中のコマンドを抜けることなく表示・非表示の切り替えを行うことができます。

オペレーション

1. コマンド選択の都度、変更要素が表示状態の場合は非表示状態に、非表示状態の場合は表示状態に自動的に切り替えます。

10. 追加要素表示

図面比較にて比較された結果図面の追加要素の表示・非表示の切り替えを行います。

☆ 図面比較・部分比較・フォルダ比較コマンドにて作成された結果図面のみ、当コマンドを使用できます。

☆ コマンドを使用できない場合は、メニューがグレー表示され選択できない状態になります。

☆ 当コマンドは割り込みコマンドとして動作します。

オペレーション中のコマンドを抜けることなく表示・非表示の切り替えを行うことができます。

オペレーション

1. コマンド選択の都度、変更要素が表示状態の場合は非表示状態に、非表示状態の場合は表示状態に自動的に切り替えます。

1 1. 削除要素表示

図面比較にて比較された結果図面の削除要素の表示・非表示の切り替えを行います。

☆ 図面比較・部分比較・フォルダ比較コマンドにて作成された結果図面のみ、当コマンドを使用できます。

☆ コマンドを使用できない場合は、メニューがグレー表示され選択できない状態になります。

☆ 当コマンドは割り込みコマンドとして動作します。

オペレーション中のコマンドを抜けることなく表示・非表示の切り替えを行うことができます。

オペレーション

1. コマンド選択の都度、削除要素が表示状態の場合は非表示状態に、非表示状態の場合は表示状態に自動的に切り替えます。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を、無断で複製することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 落丁、乱丁がございましたらご連絡下さい。
4. 記載されている会社名、製品名は、各社の商標及び登録商標です。